

佐藤 仁志 議員

新しい風やとみ



問 官製談合事件の責任は

答 全ての責任は市長の私にある

問 「99.09%」という極めて高い落札率をどう分析しているか。

答 (市長) 業者がしっかりと積算した結果。

問 実務経験がある市長に問う。入札業者はどれほどの人員と日数を要したら正確な積算ができるか。

答 積算にかかる人数や日数は分からない。

問 逮捕された職員の動機や組織的関与の有無をどう認識しているか。

答 捜査中のため詳細は今後確認するが、組織的関与はなく個人の資質の問題と認識。

問 職員が法令の原文すら読んでいないことこそが、事件を招いた「組織的な問題」ではないか。

答 職員には法律を熟読し遵守するよう指導している。

問 「再発防止対策検討委員会」は外部の「第三者委員会」か。

答 (総務部長) 市の内部委員会を設置し、その後、公正取引委員会等の助言を得ながら外部の「第三者委員会」の設置を検討する。

問 問題の本質は入札制度にある。捜査中を言い訳にせず、直ちにトップの責任を明確にし、市民へ真相を正しく説明すべきでは。

答 (市長) 全ての責任は重く受け止めている。ただし、具体的な処分や措置は、事実関係が明らかになった段階で決定する。



▲工事中の「みなともまちなか交流館」

問 相次ぐ事件やミスへの責任は

答 責任の所在を職員に示す

問 相次ぐ事件やミスは、個人の資質やマニュアル不足が原因ではない。課長とグループリーダーを同時に異動させた「人事の失敗」が招いた結果ではないか。

答 (市長) 人事の失敗ではない。チェック体制などの組織構造を見直す。全ての責任は私にあり、再発防止に向けた仕組みづくりに取り組む。

問 駅周辺の大型事業に伴う将来の金利上昇や維持管理費など財政リスクをどう試算しているか。市長自身の「政治的信念」と「財政哲学」の見解は。

答 駅周辺整備は市の積年の課題であり予定通り進める。物価高騰下でも優先順位をつけ、期待に応える市政運営を行う。



▲工事中のJR弥富駅